

「社会に開かれた教育課程」の 実現に向けて

～ E S D ・ 学校運営協議会 ・ 共育コミュニティを柱に考える～



橋本市教育委員会

生涯学習課 主幹（社会教育主事）

学校教育課 主任指導主事

木下 豪人

1. はじめに

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

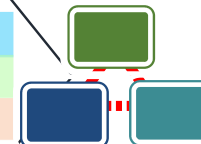
どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、
新しい時代に求められる資質・能力
を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解
を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

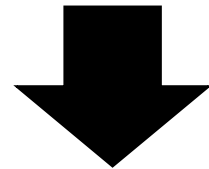


社会に開かれた教育課程 = 学習指導要領の理念

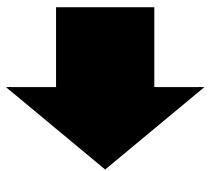
- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、**よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る**という目標を持ち、**教育課程**を介してその**目標を社会と共有**していくこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、**社会や世界**に向き合い関わり合い、**自分の人生を切り拓いていく**ために求められる**資質・能力**とは何かを、**教育課程**において**明確化**し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、**地域の人的・物的資源を活用**したり、放課後や土曜日等を活用した**社会教育との連携**を図ったりし、**学校教育を学校内に閉じず**に、その目指すところを**社会と共有・連携**しながら実現させること。

1. はじめに

各校で地域と関わって取り組んでいる
授業や活動を**整理**する！



スクラップ&ビルド！



ブラッシュアップ！
新たな**協働活動**の構築へ！

1. はじめに

「協働」とは

(単に協力して働くことではなく)

**同じ目的のために、対等の
立場で協力して共に働くこと**



2. 共育コミュニティについて



挨拶運動



地域一斉清掃



合同防災訓練



図書館ボランティア



授業支援



通学合宿

2. 共育コミュニティについて

和歌山では、

共育コミュニティ…和歌山県発祥の造語(H20～)

国では、

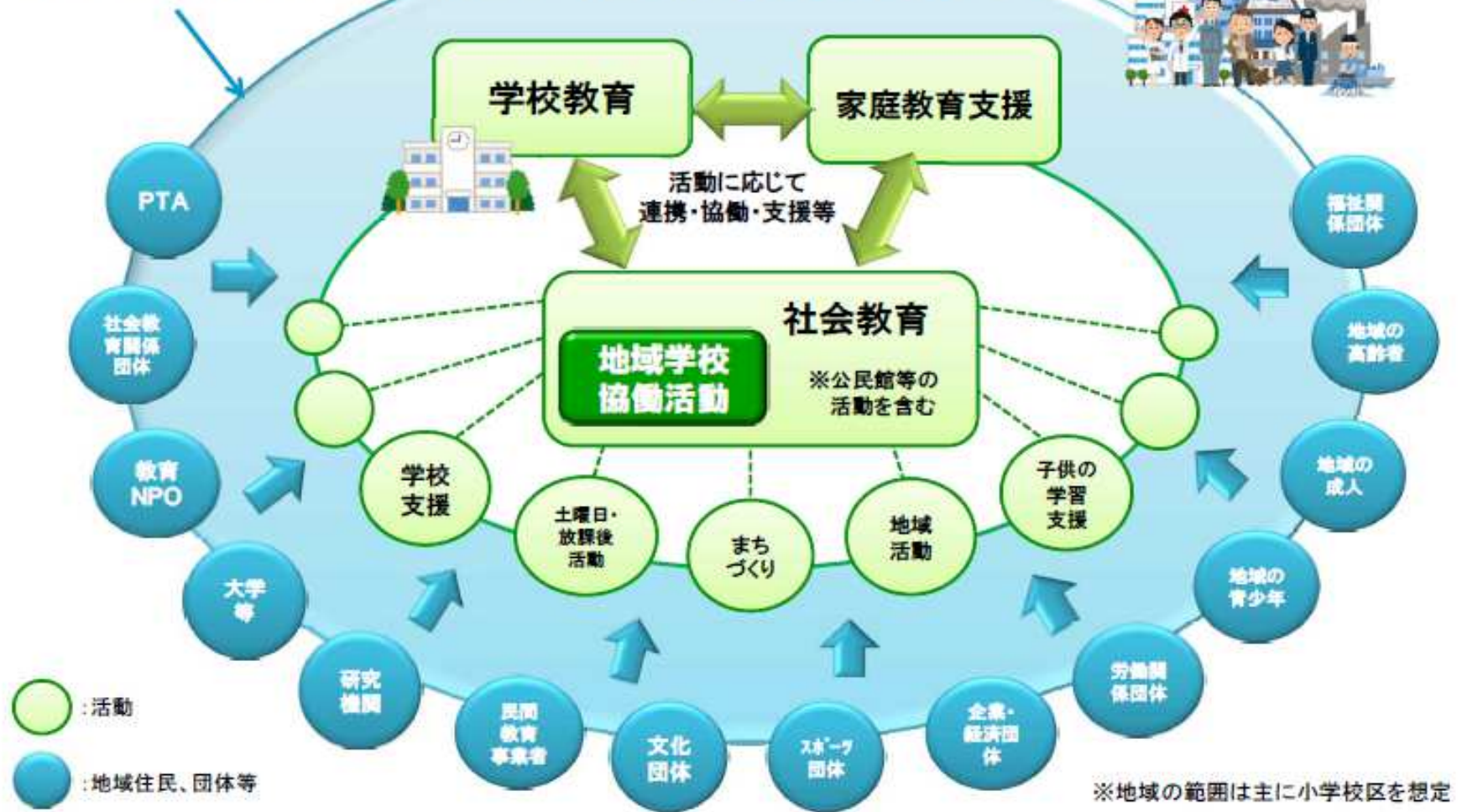
学校支援地域本部 → 地域学校協働本部へ

学校支援活動 → 地域学校協働活動へ

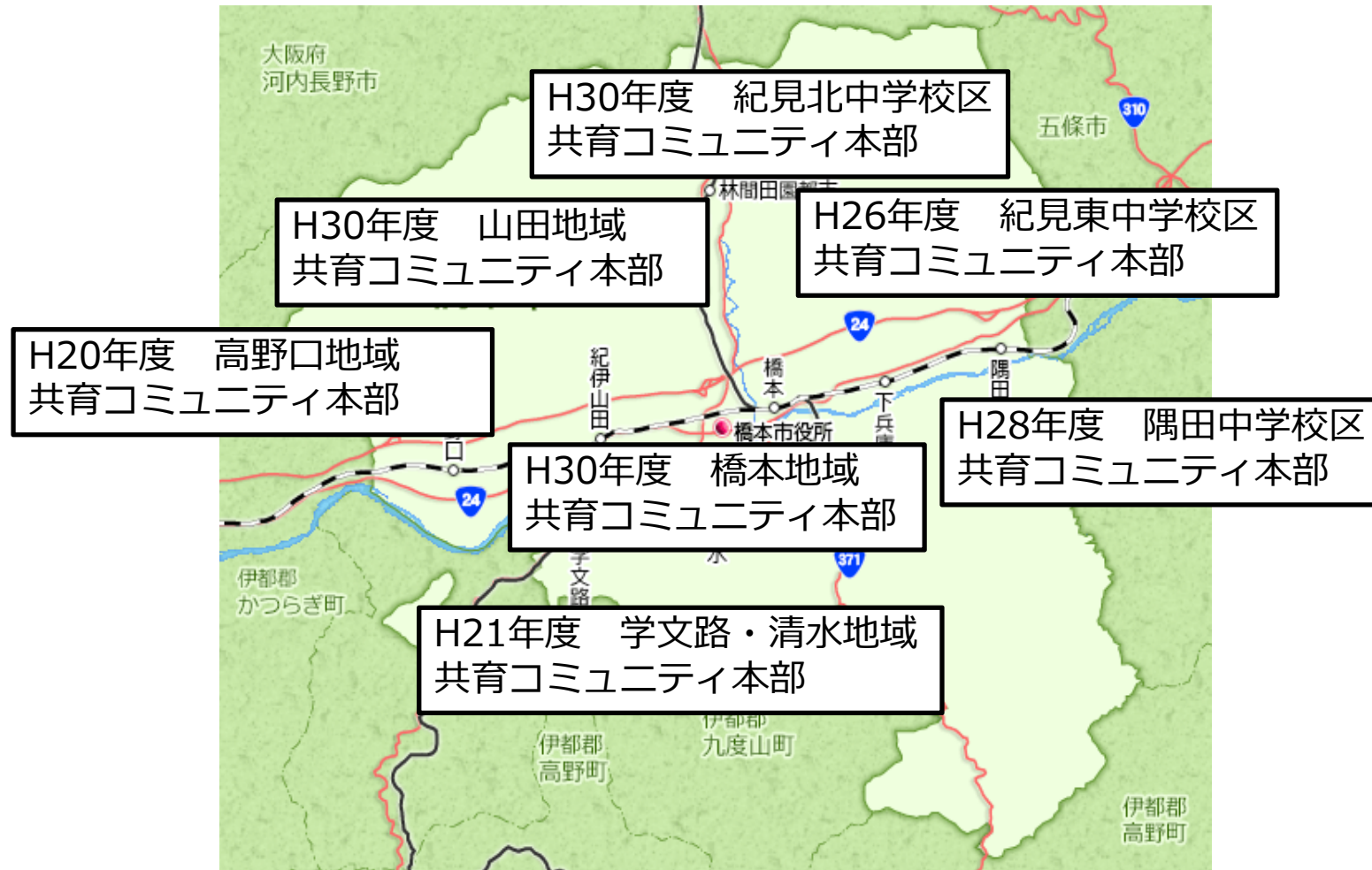
これからのキーワードは、「協働！」

2. 共育コミュニティについて

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成

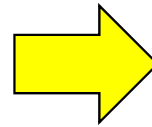
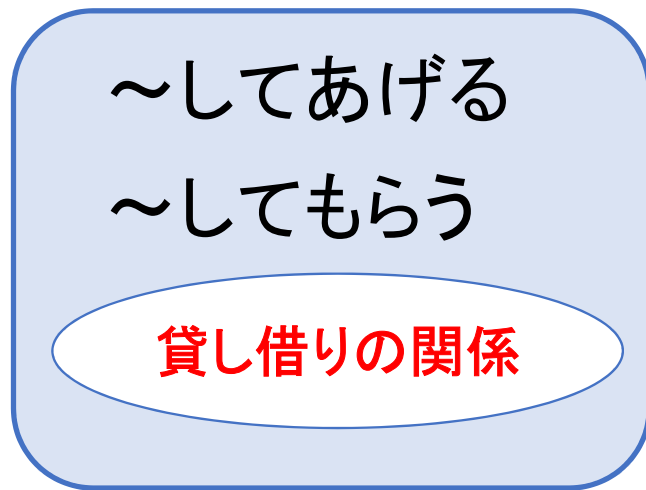


2. 共育コミュニティについて



2. 共育コミュニティについて

これからのあるべき学校と地域の関係は…



イコールパートナー

3. コミュニティ・スクールについて

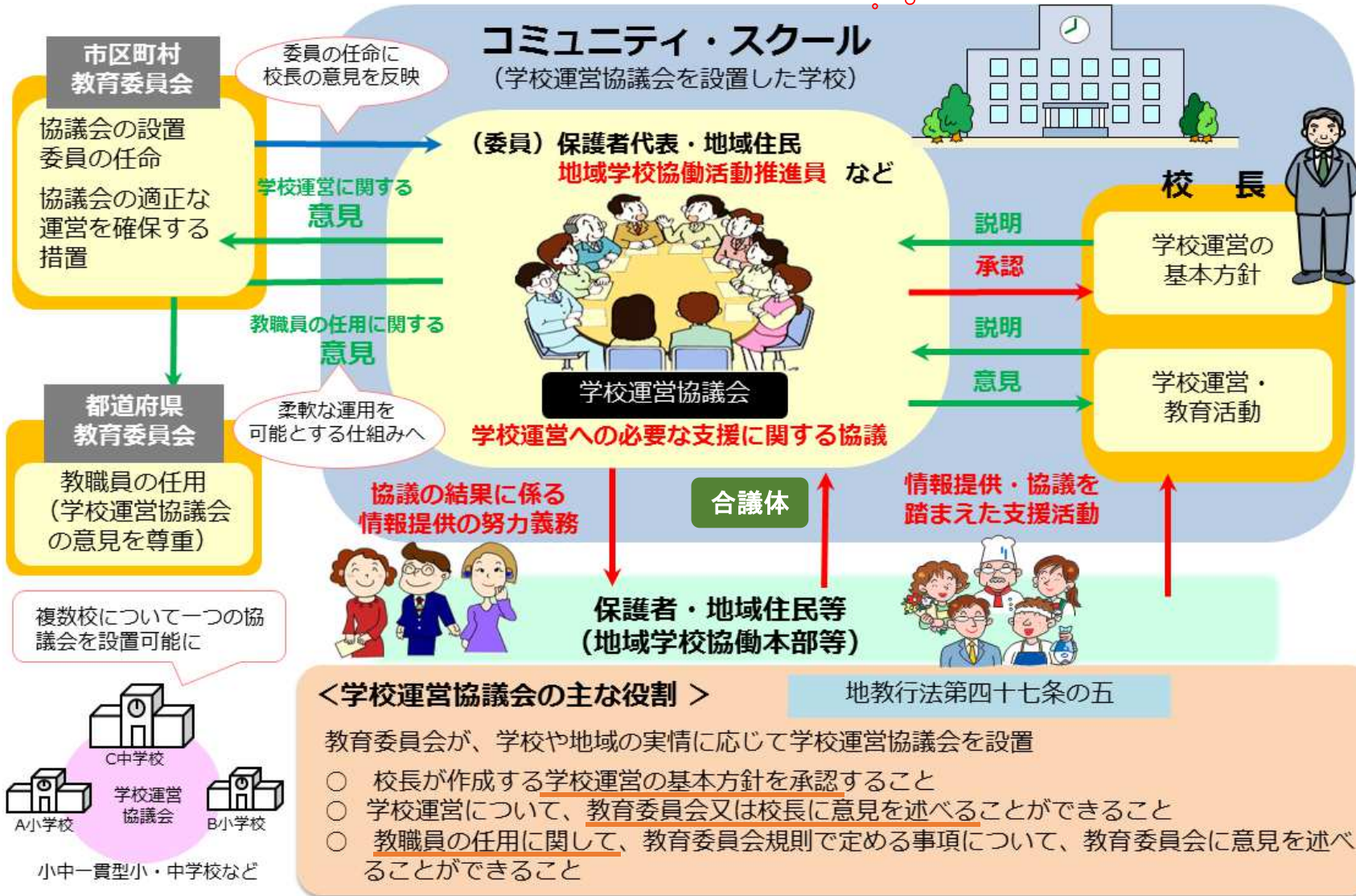
コミュニティ・スクールとは、

「学校運営協議会を設置した学校」

あなたの学校は、コミュニティ・スクールですか？

～学校改革～

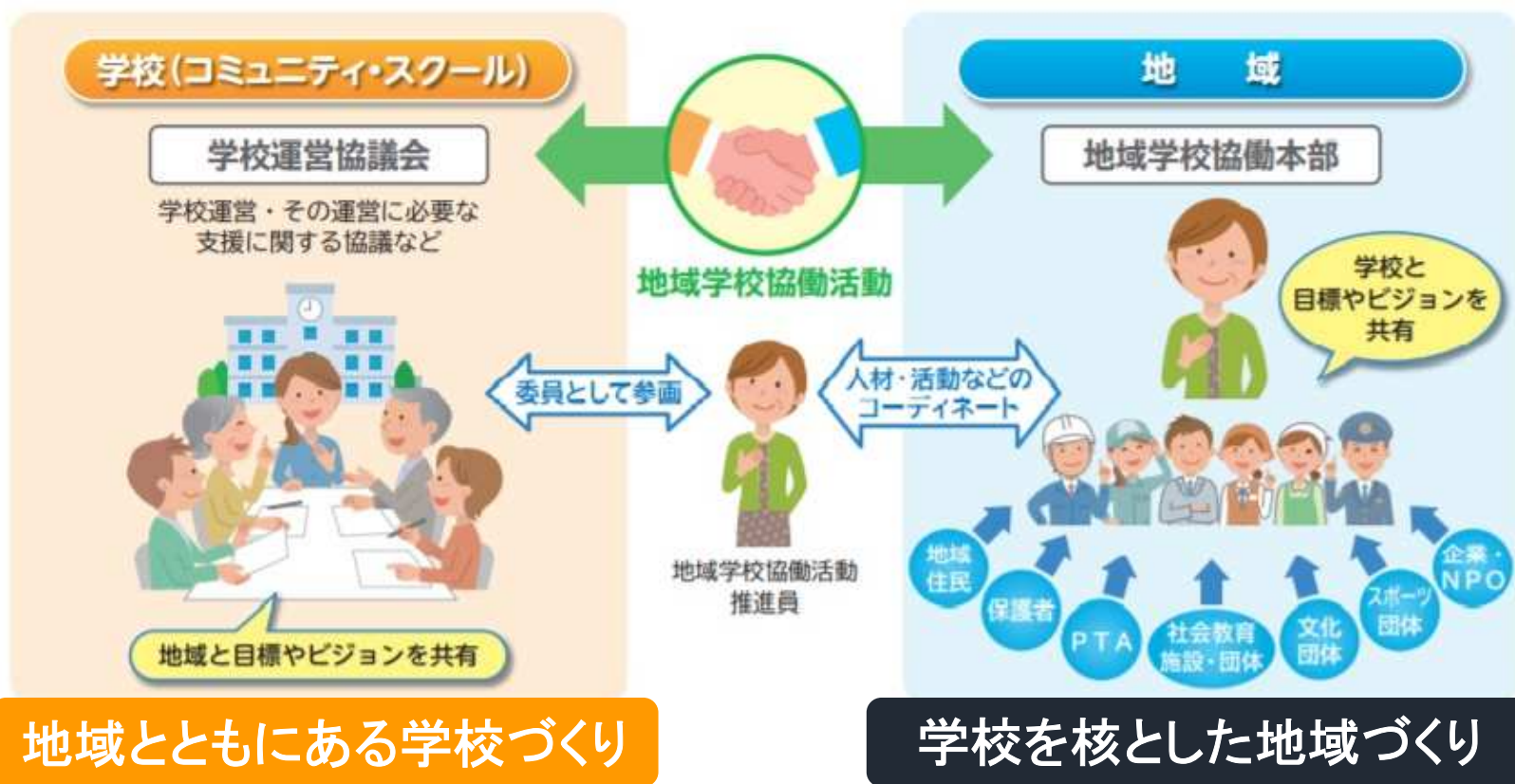
持続可能な取組に



～学校改革・地域改革～

県も同じ方向性で「きのくにコミュニティスクール」を推進

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



～学校改革・地域改革～

きのくにコミュニティスクール

ふるさとの未来を託せる子供を育てるために

学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって地域の子供たちを育てていくことは、子供の豊かな育ちを保障するとともに、そこに関わる大人や地域の結びつきを強めることにつながります。多くの人と関わることで子供たちの自己肯定感を高め、「この地域で育ってよかった」と思える心の育成をめざします。

共通の目標に向けた 連携・協働

生きる力

自己肯定感

教育活動
の充実

地域の
活性化

生きがい
やりがい

地域の
結びつき

学校

地域・家庭

こんな子供に

こんな地域に

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

<地域住民や保護者等が学校運営に参画>

- 学校運営の基本方針の承認
- 課題解決のための手立ての協議
- 協議内容や取組の公開

地域学校協働活動 推進員 コーディネーター

共育コミュニティ (地域学校協働活動)

<学校と地域が相互に連携・協働>

- ふるさと学習や授業補助などの協力
- 登下校の見守りやあいさつ運動の実施
- 放課後等の学習支援や体験・交流活動の実施

➤ 共育コミュニティの キーパーソン (13名)

➤ 各共育コミュニティ本部
に1～3名配置

➤ 各種団体との橋渡し

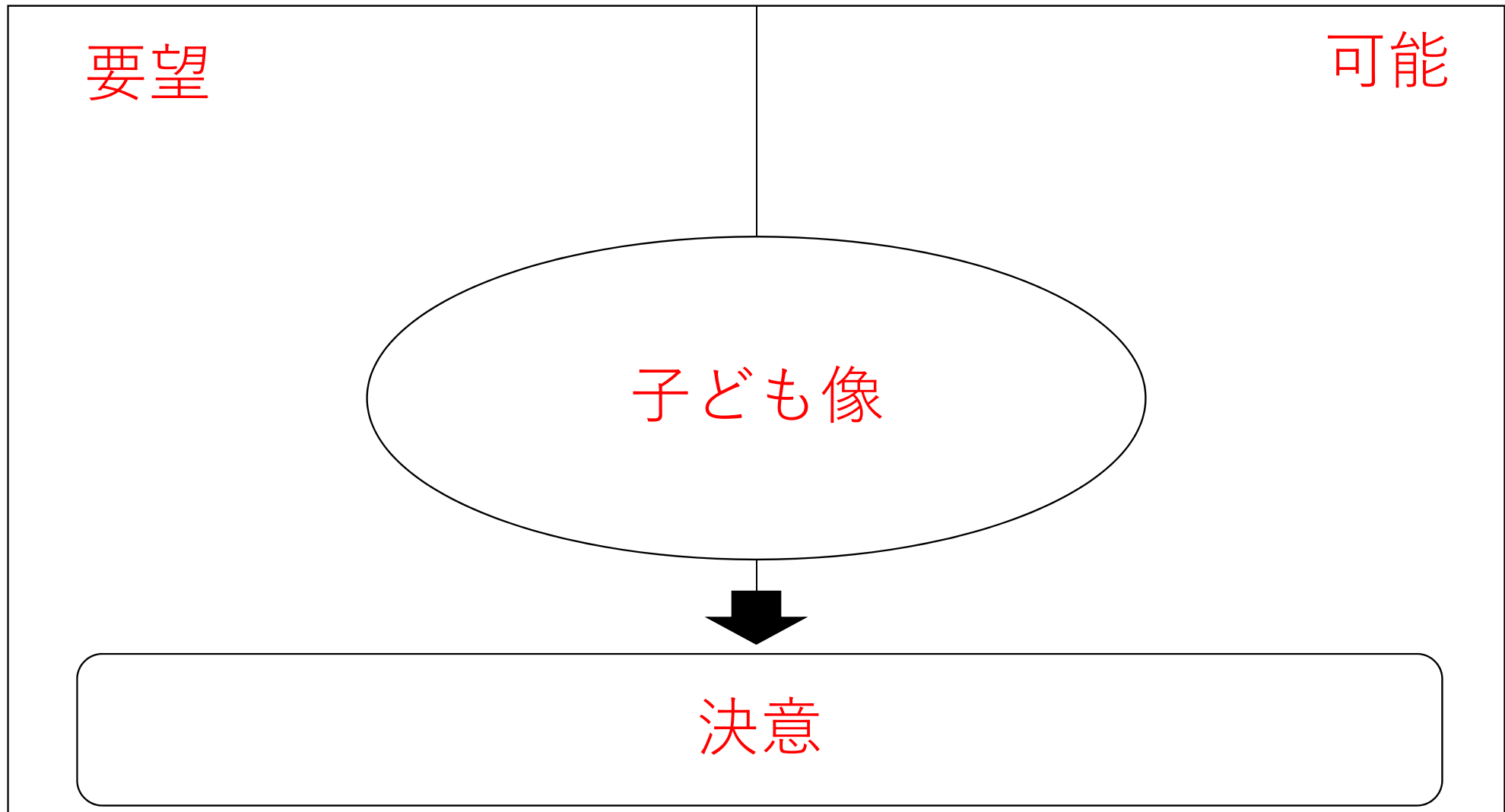
➤ 月1回市CN会議

4. 熟議 ～学校と地域が求めるもの～

熟議の視点

1. こんな子どもに育ててほしい（子ども像）
→まんなか
2. 地域の人をお願いしたいこと（要望）
→左
3. 地域の人にはこんなことができる（可能）
→右
4. できそうなこと（決意）
→下

4. 熟議 ～学校と地域が求めるもの～



【参考】「地域と共にある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に向けて

第1回 学校運営協議会
 ・学校の現状と課題
 ・学校運営基本方針の承認(OK→Let's)

共有コミュニティ本部会議
 ・共有1
 本部がめざす子供像

CN会議
 校長会

第2回 学校運営協議会
 ・共有2
 ゴールイメージ(目標、めざす子供像)
 職員会議・学年会等
 ・協働1・2
 協働活動の分担

各地域に合わせた
 地域学校協働活動
 の展開

青少年健全育成
 共有コミュニティ
 公民館 その他
 学校運営協議会
 活動部会

第4回 学校運営協議会
 ・最終検証
 成果の共有、学校評価、学校運営協議会評価
 ・次年度に向けて
 子供像の(再)設定
 具体的手段・方法の工夫・変更
 何をスクラップ・統合するか
 どのように「業務改善」するか

各地域に合わせた
 地域学校協働活動
 の展開

青少年健全育成
 共有コミュニティ
 公民館 その他
 学校運営協議会
 活動部会

第3回 学校運営協議会
 ・中間検証
 成果の共有、軌道修正

共有コミュニティ本部会議
 ・中間検証
 成果の共有、軌道修正

CN会議
 校長会

すべては
 子供たちの
 笑顔のため



再協働

再共有

共有 1

本部でめざす
子供像・地域像

学校での取組

子供の取組

家庭での取組

地域での取組

↓
学校・家庭・地域の思いを詰め込む！
めざす子供像の明確化！

共有 2

〇〇学校 学校運営協議会 熟議シート

課題	・地域とのつながりが希薄化	現状の共有 課題を出しすぎない！
	・スマホやインターネットの利用モラルが心配	

目標 (上位目標)	児童（生徒）、教職員が地域住民と主体的に関わる学校	スクールプランや教育目標、 めざす子供像とリンク (年度末の学校運営協議会で熟議 →次年度の方向性を決める)
--------------	---------------------------	---

ゴールイメージ (下位目標)	①大きな声で挨拶する子	上位目標達成のために、何が 必要か？ より具体的な目標・行動設定を！
	②地域行事に積極的に関わる子供	
	③学校の敷居を下げる	
	④	
	⑤	
	...	

既存の活動	・地域の祭	①	②	
	・登下校の見守り	①	③	
	・地域一斉清掃	①	②	③
	・			
	・			

既存の活動は、どのゴールイメージとリンクするか？
既存の活動の整理を行う。

学校運営協議会

共育コミュニティ
青少年健全育成
自治会
ふれあいルーム
公民館
etc

↓
めざす子供像の明確化！

学校 家庭 地域の思いを詰め込む！



協働 1

↓
今取り組んでいる活動の整理！
スクラップ&ビルドが明確に！

〇〇学校 地域に開かれた教育課程

各教科 地域学校協働活動	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級	低学年	高学年	全学年	地域の キーパーソン
国語											
社会											
算数											
理科											
音楽											
外国語 外国語活動											
図画工作											
家庭											
体育											
生活科 総合的な学習の時間											
道徳											
特別活動 学校行事 その他											
放課後子ども教室 子どもの居場所づくり 共育コミュニティ 公民館 青少年健全育成 市の行事 その他											

青：地域の人が校外で行う学習

赤：地域の人が校内で行う学習

緑：他校種が連携した学習

協働 2

↓
いつ、誰とつながるかの「見える化」

学年ごとにタイムライン作成

〇〇学校 地域に開かれた教育課程（〇年）

各教科 地域学校協働活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	地域の キーパーソン
国語													
社会													
算数													
理科													
音楽													
外国語 外国語活動													
図画工作													
家庭													
体育													
生活科 総合的な学習の時間													
道徳													
特別活動 学校行事 その他													
放課後子ども教室 子どもの居場所づくり 共育コミュニティ 公民館 青少年健全育成 市の行事 その他													

青：地域の人が校外で行う学習

赤：地域の人が校内で行う学習

緑：他校種が連携した学習